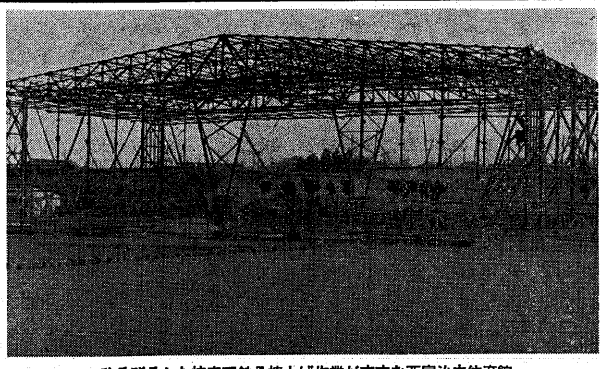
宇治市政だより
発行所 宇治市役所
京都府宇治市宇治妙楽160の1
印刷所 有限会社新進堂

夢にも見た体育館
西宇治中に建設


ひろびろした校庭で鉄骨棟上げ作業がすすむ西宇治中体育館

市内三中学校のうち西宇治中学校に鉄筋・鉄骨づくりの屋内体育館が来年二月、同校正門を入った右側にお目見得することになり、いま寒風をついて工事が進められている。

これまで三中学校とも屋内運動場がなく、体育教課は天気に左右されることもしばしばあった。そのため、各学校、同育友会などを中心に屋内体育館の実現が望まれていたもので、今年度の西宇治中学校を皮切りに宇治、東宇治両中学校にも順次建築される計画となっている。

建築中の同体育館は、間口十八・二m、奥行三十八・九m、高さ十一・九mで、面積は一階六百八十八・二㎡、二階十一・七㎡、計六百九十九・九㎡となっている。内部は、一階は体育場、ステージ（映写室ともなる）からなり、体育場床にはバレー、バスケット、バドミントンができるラインを引くほか、運動器具が整備される。

事業費は総額一千四百九十八万九千円で、財源として国庫補助金四百三十一万八千円、起債三百五十万円と一般財源七百十七万一千円が見込まれ、三十八年二月二十日竣功の予定である。

〝来春一月〟成人式へ

純情と健康をもってのたく成人の日をお迎えになるみなさんの首途を祝福し、かつ、激励するため成人式を行ないますので、奮ってご参加されるようお待ちいたします。

①日時 一月十五日午後一時
②場所 寛道第二小学校
③対象 昭和十七年一月十六日から昭和十八年一月十五日までに生まれた人で、昭和三十七年十二月一日現在宇治市に住民登録を完了している日本人

（宇治市教育委員会）

高まる市民の願い
「鐘」の募金ひろがる

去る九月十五日から始めた「平和と愛の鐘（仮称）の建設募金は、市民のみなさんのご協力でぞくぞく募金が寄せられています。

そこで十一月五日から同三十日までの間にご寄附いただきました方のお名前をお知らせし、あわせて厚くお礼を申し上げます。

▽十一月五日 宇治一番二七の一小西寛造さんから五百円（洛南タイムス社経由）
▽十一月八日 宇治妙楽一七一上林保子さんから三千円（山城日日新聞社経由）
▽十一月九日 宇治東内一六番下善治君（寛道小学校二年生）から千六百円（洛南タイムス社経由）
▽十一月十日 宇治一番七一松本司さんから五百円、同長男嘉夫ちゃん、同長女美也子ちゃんから二百円（洛南タイムス社経由）、市役所内募金箱から五千二百八十円（いずれも匿名）
▽十一月十七日 匿名（宇治中学校生徒）で五百円
▽十一月二十一日 宇治手文字一七番川貞さんから五百円（洛南タイムス社経由）、宇治田原青年会のみなさんから二千二十八円（洛南タイムス社経由）
▽十一月二十二日 新庄市長から一万円、西田市助役から二千円、木下市収入役から千五百円、宇治市婦部会のみなさんから一万円
▽十一月二十四日 宇治妙楽一三七の二小野三枝子ちゃん（寛道小学校四年生）から二百六十円（洛南タイムス社経由）
▽十一月二十六日 木幡赤塚大力土地内徳山精一さんから二千円
宇治市文化協会から千九百円（洛南タイムス社経由）
▽十一月二十八日 市消防署のみなさんから二千円、宇治中学校生徒会のみなさんから五千三百十一円（洛南タイムス社経由）
▽十一月二十九日 木幡赤塚大力土地株式会社社長桑野忠男さんから二万円
計 六万九千八十二円

累計 十六万九千五百四十四円

この建設は、運動の趣旨から広く市民のみなさんの自発的な献財を得て完成したいと思っておりますので、なお、一段のご協力をお願い申し上げます。

建設場所 市役所新庁舎増屋
建設経費 五千万円
募金運動期間 昭和三十八年二月末まで

（宇治市平和都市推進協議会）

年末年始のご用は

市役所では十二月二十八日（金曜日）でご用納めになりますが、税金を納めていただく方には三十日まで取扱いをいたします。

ご用のある方は草や自におとし下さい。

新年のご用始めは一月四日（金曜日）です。

緑の財産づくり
ことしも市有林に植林

宇治川上流天ケ瀬ダムさんで両岸に市有山林がある。右に紅葉山、左に金槌尾山、仙郷山が連なり、左に金井戸山があって、総面積は百五十四ヘクタール、いずれも天ケ瀬ダムの確認を契機に脚光を浴びて四季を彩っている。

このうち、仙郷山は九三ヘクタールで、ここから伐採されたすぎやひのきの素材は今日まで市の財政の一端を担い学校や庁舎の建築もほとんど毎年続けて行なわれ、三十六年には仙郷山一番地六ヘクタールにひのき一万二千本、すぎ六千本、二十七年には同六番地三ヘクタールにひのき九千本、二十八年には同一番地六ヘクタールにひのき一万五千本、すぎ三千本、三十一年には同一・一番地六ヘクタールにひのき一万五千本、すぎ三千本、三十三・三十四年には同一番地六ヘクタールにそれぞれひのき九千本、三十五年には同一・三・四・五番地十五ヘクタールにひのき一万八千本、すぎ六千本、まつ二万二千本が植えられ、ことしも同三・五番地十三ヘクタール にひのき四万四千本、すぎ八千本植林された。苗木は全部伊賀上野から取りよせたもので、これらのすぎやひのきが一人前になるには約四十年かかる。

こうして地味ではあるがコツコツと植林が続けられており、担当者も「自分の手がけた木が一日一日と大きくなって行くのはわが子の成長を見るようで楽しいものだよ」と、感慨をこめて語っていた。

（写真上は成長する市有林 下は仙郷山の植林作業）

年末滞納一掃
月間のお願い

今年は宇治市の年中行事といわれる災害にも見舞われず安心とすると、延滞金や加算金と喜ばれなきゃこんでいると、電車賃をはじめ各種料金が軒なみに値上げとなり、家計簿のしめくくりに頭を痛めておいでのことと存じます。

みなさんの宇治市の台所も、各種事業が山積し、毎度のことながら「金があったらなー」というような現状であります。

みなさんのご協力により納税成績も年とともに向上してまいりました。

みなさんから「高い」「高い」といわれている個人市民税も、市長の公約どおり、大都市なみに軽減されました。

「ZUT金はZやが先、一番後廻しや。」なんにほっておかれる災害にも見舞われず安心とすると、延滞金や加算金と喜ばれなきゃこんでいると、電車賃をはじめ各種料金が軒なみに値上げとなり、家計簿のしめくくりに頭を痛めておいでのことと存じます。市の方でも、今年一枚ずつどころを督促状、整理簿、催告状、点検、整理カードの作成と事務がそれこそ倍増することになります。

もちろん失業や病気や火事などの災害というはっきりした事故のため、どうしても納められない方につきましては分納という方法もありますから、「税務課は入りにくい。」などと敬遠されずにお気軽にご相談において下さい。

市税は完納して心よいお正月を迎えましょう。

（税務課）

消防本部が年末警戒

宇治市の消防署、消防団では、年末の火気取り締まりのため、きたる十二月十八日から三十日まで三日間、市内の年末警戒にあたります。

この間、消防署では署員が交代で市内の全域を巡察、市長、助役らも同乗、また、消防団では団員が市内二十四カ所につめて徹夜で警戒します。

年末は、もちつきや正月の準備などで何かとせわしくなり、火の始末もおろそかになりがちです。家庭でも、職場でも、お互いに火の使用に十分注意をいたしましょう。

（宇治市消防本部）

市長に手紙を出す旬間

「民主的な並民市長として、できるだけ市民の声をききたい。」とは新庄市長の基本的な考えです。これにより宇治市では、「市民の声で明るい市政」をモットーとして、年中いつでも、みなさんの投書を歓迎しています。新庄市長の施政もいよいよ第一期に入り、市の内外の発展とともに、いままでの基礎のものの上にいろいろの大事業が進められようとしています。

この機会に、市政についての建設的なご意見をどしどし寄せ下さい。これらの投書は次号に掲載する予定です。紙上匿名は自由ですが、投書にはかならずお名前、おところ、おしごと年令を明記して下さい。

◎期間 12月18日～12月27日
◎届け先 宇治市宇治妙楽一六〇 宇治市役所企画広報課気付 宇治市長あて

12月は 市税出張徴収の日がかわります

月末の出張徴収は行ないません

18日（火）10時—16時 大久保公民分館 旦椋公会堂 伊勢田公民分館 開公民分館
19日（水）10時—16時 宇治市水道課 木幡公民分館
20日（木）10時—16時 神明宮東公民分館

年賀郵便物は12月22日までに

年末は平常の数倍の郵便物が殺到します。年賀郵便物は早くお差し出し下さい。ことしから「年賀特別取扱」は葉書だけになりましたからご承知願います。

簡易保険の維持強化月間

37.12.1～12.31

12月はサラリーマンはボーナスの月、農家は収穫代金の入る月、商店も売上代金のまとまる月です。この機会に保険料の月おくれを取り戻しましょう。

—宇治郵便局—

みんなで明るいお正月を

歳末たすけあい運動にご協力をお願いします

宇治市社会福祉協議会・宇治市民生児童委員協議会
宇治市連合婦人会・宇治市

みんなの愛情が育てる特殊学級

おとなの体裁より子どもの将来

こどもに関するかぎり、親のこころはかわらない。それが教育のこととなると、こどもができるできないをこえて無理な教育をしいていることがある。

こどもはやはりのびのびと勉強できることが大切だとは先生方のお答え。特殊学級ではできないこどもたちが愛情にまもられて楽しい学習をつづけている。……

特殊学級とは

それは一口でいいますと、知能の遅れている子供を収容して指導しているところです。決して不良児学級やハキダメ学級ではありません。

知能は普通、知能検査によりますが、検査の結果から指数を出し一〇〇前後を普通とし、それより数字が多くなるしたがい上知能とか優秀知能とし、普通より少ないのを下知能とします。下知能をさらに分けて、魯鈍（ろどん）、痴愚、白痴にわけます。この白痴を除いた魯鈍、痴愚の子供を収容して指導するところが特殊学級なのです。

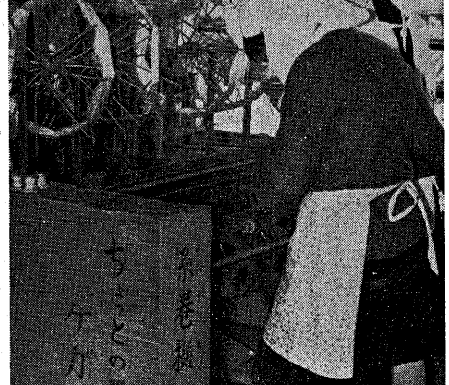
知能のおくれた子は

昭和三六年に調査した宇治久世地方の小・中学校の子供の知能の分布は、次のように なっています。（器中コンックが対象児）

知能指数	小学校 人数	小学校 %	中学校 人数	中学校 %
0～25	24	0.4	0	0
26～50	41	0.7	5	0.2
51～57	330	5.7	127	3.2
76～91	996	17.1	580	15.0
92～107	1997	34.3	1524	39.5
108～123	1865	32.1	1251	32.4
124～	565	9.7	372	9.7
計	5818	100	3859	100

※調査対象校は、宇治、笠取、笠取第二、蒐道、蒐道第二、槇島、大久保、小倉、御牧、佐山、久津川、寺田、富野、黄谷の各小学校、淀、西宇治、宇治、東宇治、城陽の各中学校

一〇〇人中、小学校では約六人中学校では約四人が、特殊学級にはいる方がよい子供がいることになります。



苦しい勉強

教室の中ではちょっと見ると、他の子と同じように楽しく勉強しているように見えますが、先生の話も理解できず、本も読めず、字も書けず、たまに質問に答えてもトンチンカンの答になって、級友に笑われ、恥かしい思いをして、教室で小さくなっているか、またはいたずらや級友に話かけをして自分を慰めているかであり、こんな場合には、先生から注意を受け学級の不良として刻印を押されているといったようすになっているのが普通です。

立場をかえてみても、一旦三時間も四時間も、何もわからぬまま不愉快な気持ちでいすにすわらせられている。しかも、一年中となるのですからたまったものではありません。

子供にとっても、これほど不幸なことはないでしょう。

この子らを救うために

この不幸な子供たちを、普通学級からはずし、この子供たちで一つの学級をつくり、一人の専任の先生の担任のもとで自分たちの力にあった勉強をすることで、毎日普通学級の子供と同じように心から楽しい学校生活が送れるようにと著え、次のように特殊学級がつくられています。

学校名	収容人数
宇治中学校	一三
菟道小学校	六
菟道第二小学校	六
小倉小学校	一
宇治小学校	一一
合計	四九

さきにも書いたように、約五%の特殊学級にはいる方がよいと思われる子供があるとすると、中学に入っていることが近所にわかるとたいへん発達するものです。手・足の訓練は根気よく指導するとたいへん発達するものです。しかし手・足の訓練ばかりやっているのでなく、午前中は主として読み、書き、計算というような基礎教育に力をいれています。そのほか健康の増進はもちろん、心情の訓練もやっています。

卒業後は

このような生徒たちは卒業後どのような仕事をしているかといいますと、単純な作業をしています例えば毎日木に穴をあけるとか、磨くとか、同じ寸法に木や布を切断するとかやっています。昨年末調査しましたところ、いつも真面目によく働いてくれると好評を得ています。（教育委員会）

ほしい親の理解

「うちの子は勉強できなくてもかまわぬから、普通学級においてほしい。」「勉強ができぬことはわかっているから…」「勉強のことは先生の責任を絶対追及しませんから!」ということばの中から特殊学級が嫌われている理由がうかがえます。

つまり、①特殊学級は「バカ」な子供の学級である。この組に入ることは「バカ」であるという刻印を押されることになり、就職や結婚にまで影響する。②この学級に入っていることが近所にわかると、「理解」ただいて、知能の遅れた子を、進んで宇治市の特殊学級におおぞり願いたいものです。

宇治中の特殊学級では

宇治中の特殊学級では、足踏ミシンのこぎりで板を切り抜かせたり、粘土細工をさせたり、金糸加工をさせたり、レース糸を編ませたり、主として手・足の訓練をやっていますが、ひも一つが満足に結べない生徒もいます。これは小さいときから遅れているというので両親はもちろん、特に祖父母がいますと、子供にやらせずにすぐ手伝ってやる結果です。手・足の訓練は根気よく指導するとたいへん発達するものです。しかし手・足の訓練ばかりやっているのでなく、午前中は主として読み、書き、計算というような基礎教育に力をいれています。そのほか健康の増進はもちろん、心情の訓練もやっています。

市役所への投書には

日常、市民の方から市役所あてに投書をいただきますが、その内容によっては、関係課の方で、すぐに処置できるものもあり、またもっとくわしい事情をおききしたいものもあります。このような場合、おとどりやお名前が書いてないとどうしたことができませんので、投書には必ずおとどりとお名前を明記して下さい。（企画広報課）

社教雑記

▼候補者の政見を聴いたとき、投票するのが望ましい選挙の姿であるが、事実はそうでない場合が多いらしい。A候補の地盤で開かれたB候補の政見発表演説会に出席すると、地区民から妙な目で見られたり、とかくの批判を受ける。そんなわけで聴き手が一人もいない会場があるのだから全くあきれる。民主主義公明選挙の実現、道はお遠きを感む。

▼青少年が悪化し、犯罪が年々多くなったとおとなが叫ぶ。事実そう違いないが、余り騒ぎすぎるので、青少年の側では、みんながやるのだからといった考えで、犯罪行為を平気でしたり、少々の悪いことを恥に介しない。余りやかましくいうと却って逆効果をきたすおそれが多分にある。青少年に限らず、おとなも悪化している。謙虚な気持で自らを慎しみ、家庭教育の強化、環境の浄化に努力したいものだ。

▼電車内での喫煙者がめっきり多くなった。一人で一・五から一・八位の座席を占領し、おまけに通路に足を投げ出している。席をつめてもらおうとすると、ジロッとにらんだ上で、厚かましくつめるが、催促しない限り誰かが立っていようと、全く無頓着である。乗客員がもう少し秩序維持のために努力したらと思うが、それをしない。不道徳時代、日本の縮図をここに見る。

▼日本人の集るところ必ずそのあとに紙屑の花が咲く。テレビ放送を見ていると、大相撲の場合はとりわけひどい。これの清掃人夫賃はばく大な額に上るときく。お互いがもっと注意したら、どれ程無駄が省けしかも気持のよいことだろう。まさに日本人は塵埃（じんあい）を作ることにかけては、世界でも優秀民族に属するとは手ー憤ない。

（いまにし生）

手がるな生活資金

福祉金庫から貸出し

毎月市民から当協議会へ心のこもった寄附金がたくさん寄せられていますが、ことしの四月から十一月までに集まった寄附金は三千五百円、二万七千七百七円になりました。

このうち、七月二十三日槇島町一ノ坪二二二藪内まさえさんからいただいた五千円は、藪内さんのお心にそって養老施設同和園へ三千円、同昼園へ二千円、十一月七日宇治一番九寺川常治さん母常故りえさんからいただいた二万円は、目の不自由な方に役立てて下さいというお心どおり、盲人協会を通して安孫子二千本を贈っています。残りの一万二千七円は社会福祉金庫に入れて、生活に困っている人たちに無利子で貸し出しをしています。

この貸付制度は、市民のみなさんから寄せられるお金を積み立て貧しい人々の生活資金として一口一万円、無利子で六カ月間お貸しすることとしているものです。去る十一月二十日までの貸付額は三千九万九千二百円にのぼり、現在手持資金は二千七万円七千八百九十八円となっています。

年末をかえて生活に苦しい方がたのお役に立ちますよう、せいぜい利用下さい。

愛の寄金

当協議会へ十月中に次の方がたから心暖まる寄附が寄せられました。

▽十一月六日　匿名で百円（宇治警察署届出）、広野町尖山四佐信治郎から男児用ジャンパーほか三十二点

▽十一月七日　宇治一番九寺川常治さんの母常故りえさんから「目の不自由な方のために役立てて下さい。」と一万円

▽十一月二十四日　四宇治中二年三組の森文子さん、高嶋栄さん井上恵子さん、戸津井三恵子さんら仲よしグループから「貧しい家庭のお友達にあげて下さい。」と千円のノート三十冊、五円の鉛筆四ダース

これらの寄附は市内の貧しい人びとのために役立たせていただきます。どうもありがとうございました。

（宇治市社会福祉協議会）

陸海空自衛官募集

試験　毎日実施
年令　満18才～25才未満
入隊　毎月2回

志願の問合せは、市役所総務課または自衛隊京都地方連絡部㈹2464番へ

3階をおわって内部工事へ

師走の冷たい風が骨だけの建物を吹きぬけて行く。それでもコンクリート打ちともなれば働く人、機械の音、車の響きでたちまちほてるように熱を帯びる。早や3階屋上までその雄姿をあらわし、1階ではサッシュ（鋼製の窓わく）が取り付けられている。吹きぬきの階段を上った2階には市長室、同応接室、助役室2、同応接室、秘書人事課、教育委員会、管財課土木課、商工観光課、農林茶業課、企画広報課、総務課のほか新聞記者室2、小会議室、放送室、タイプ室、書庫、便所などがある。12月は、議場の屋根、塔屋（2階建）、2階のサッシュ取付工事などが進められる。

（写真は1階のサッシュ取付工事）